

令和 3 年度(令和 2 年度実績)

鳥羽市教育委員会の事務に関する
点検・評価報告書

令和 3 年 1 2 月

鳥羽市教育委員会

目 次

第1章 基本事項

I 鳥羽市が目指す教育	1
II 教育委員会の事務に関する点検・評価	1
1. 趣旨	1
2. 点検・評価の対象	2
3. 点検・評価の方法	2

第2章 点検・評価事項

I 教育委員会の運営状況	3
1. 教育委員会の構成	3
2. 教育委員会の会議	4
3. 活動の周知および情報発信	6
4. 教育委員の自己研鑽	8
5. 教育委員会だより	9
6. 情報公開について	9
7. 総合教育会議について	10
8. 教育委員会の運営に対する外部評価	11
II 「鳥羽市教育振興基本計画」の取り組みと外部評価	12
【施策1】学校教育の充実	12
【施策2】地域全体で取り組む教育の推進	34
【施策3】社会教育・スポーツ振興	39

■ 第 1 章 基本事項

I 鳥羽市が目指す教育

自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成

本市は「真珠のようにきらり輝く鳥羽^{まち}」を将来の都市像に掲げています。

次代を担う本市の子どもたちは、その実現のための大きな力になることは間違いありません。子どもたちが、輝く未来のために自分を磨き、人間性と創造力を豊かにし、社会参画意識と行動力を高めることができる環境を整えていくのは大人の責務です。

本市では、「自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成」を目標とし、園・学校・家庭・地域のさらなる連携のもと、「あふれる感性」「豊かな心」「意欲と活力」を持った子どもを育てることをめざします。

そのために、学校教育を充実させ、地域全体で取り組む教育を推進し、社会教育・スポーツの振興を図っていきます。



II 教育委員会の事務に関する点検・評価

1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用した点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされています。

教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るとともに、教育委員会の責任体制の明確化を図り、市民の方々への説明責任を果たすために、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、報告書として作成しました。

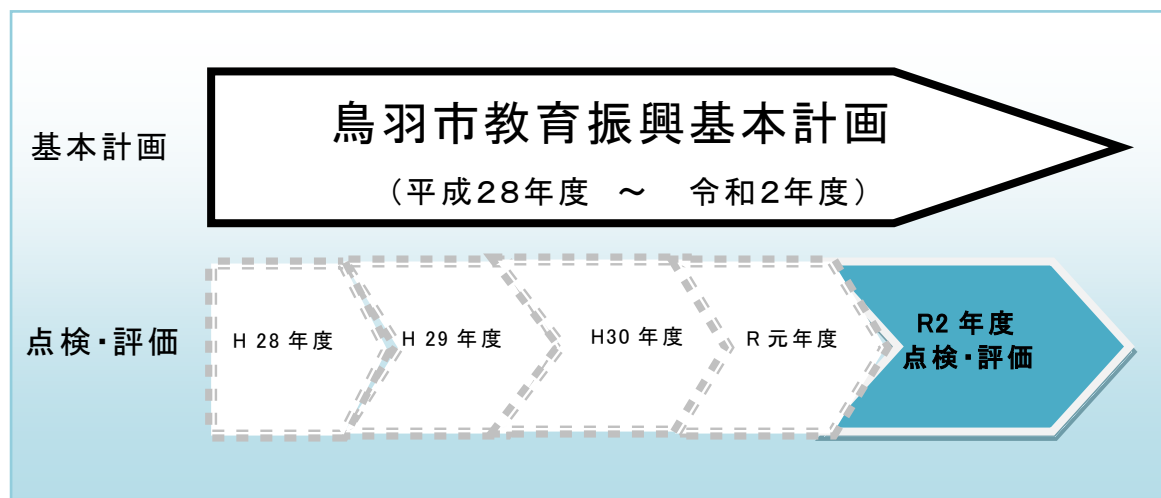
【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2. 点検評価の対象

本報告書では、令和2年度鳥羽市教育委員会の運営状況および「鳥羽市教育振興基本計画（H28～H32）」に基づく、令和2年度の主な取組について、点検・評価の対象としました。



3. 点検・評価の方法

教育委員会の運営状況および「鳥羽市教育振興基本計画」に基づいて行った令和2年度の事務（教育委員会が管理・執行する事務）に関し、成果指標などに基づいて、自己評価を行った後、教育に関する学識経験者から意見聴取を行いました。

点検・評価報告書については、議会への報告と市ホームページへ掲載し、公表します。

【学識経験者（外部委員）名簿】

氏名（敬称略）	役 職 等
市田 敏之	皇學館大学准教授
福井 光生	元小学校長

■第2章 点検・評価事項

I 教育委員会の運営状況

1. 教育委員会の構成

令和2年度中の教育委員の交代は、亀川聖子氏が任期満了により退任され、浅尾美沙氏が令和2年10月1日付けで就任しました。

【教育委員会名簿】

令和元年10月1日～

	氏 名	任 期	備 考
教育長	小竹 篤	平成29年7月1日 ～令和元年9月30日	
委 員	中村 和久	平成30年12月24日 ～令和4年12月23日	
委 員	亀川 聖子	平成28年10月1日 ～令和2年9月30日	
委 員	江崎 ユミ	平成29年10月1日 ～令和3年9月30日	教育長職務代理者
委 員	奥村 楠治	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日	

令和2年10月1日～

	氏 名	任 期	備 考
教育長	小竹 篤	令和元年10月1日 ～令和4年9月30日	
委 員	江崎 ユミ	平成29年10月1日 ～令和3年9月30日	教育長職務代理者
委 員	浅尾 美沙	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日	
委 員	奥村 楠治	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日	
委 員	中村 和久	平成30年12月24日 ～令和4年12月23日	

【教育委員会制度の概要】

- 教育委員会は、地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツ等に関する事務を担当する機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置。首長から独立した行政委員会としての位置づけ。
- 教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行。

2. 教育委員会の会議

鳥羽市教育委員会会議規則の規定に基づき、原則として毎月月末に定例会を開催しています。

令和2年度は12回（定例会12回・臨時会0回）を開催し、合計51議案を審議、可決・承認しました。

小中学校での新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校措置対応を含め、感染予防などの対応については、教育長と教育委員が随時連絡を取り合い対応を決めてきました。

会議日程は、市の告示板に告示しています。

【開催状況】（開催回数：定例会12回・臨時会0回、審議等議案数：51件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例会 (議案)	1 (12)	1 (7)	1 (1)	1 (2)	1 (3)	1 (1)	1 (1)	1 (4)	1 (4)	1 (1)	1 (5)	1 (10)	12回 (51件)
臨時会 (議案)													0回 (0件)

【主な内容】

期日	議案等	主な協議件名
4月定例会 (R2.4.21)	議案 (12件)	鳥羽市学校通学区審議会委員の委嘱について
		鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会規約の制定について
		鳥羽志摩地区教科用図書採択協議会委員の任命について
		鳥羽市教育振興基本計画策定委員会設置要綱の一部改正について
		鳥羽市教育ビジョン策定委員の委嘱について
		鳥羽市いじめ問題対策連絡協議会委員の任命について
		鳥羽市心身障害児就学指導委員会委員の解委嘱について
		鳥羽市学校評議員の委嘱について
		菅島小学校学校運営協議会委員の委嘱及び任命について
		新・放課後子ども総合プラン鳥羽市行動計画の制定について
		鳥羽市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について
5月定例会 (R2.5.26)	議案 (7件)	地域学校協働活動推進員の委嘱について
		鳥羽市英語教育推進計画の策定について
		鳥羽市スポーツ推進審議会委員の解委嘱について
		学校体育施設開放運営委員及び管理指導員の委嘱について
		鳥羽市青少年サポートセンター指導員の委嘱について
		鳥羽市立中央公民館分館主事の解任命について
		鳥羽市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の解嘱について

		鳥羽市放課後子ども総合プラン運営委員の委嘱について
6 月定例会 (R2.6.29)	議 案 (1 件)	鳥羽市小中学校結核対策委員会委員の委嘱について
7 月定例会 (R2.7.27)	議 案 (2 件)	令和 3 年度使用中学校用教科用図書の採択について 第 3 次子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱について
8 月定例会 (R2.8.24)	議 案 (3 件)	負担付きの寄附の受納についての意見の申出について 鳥羽市運動施設の管理に関する条例の一部を改正する条例についての意見の申出について 鳥羽市運動施設の管理に関する条例施行規則の一部改正について
9 月定例会 (R2.9.29)	議 案 (1 件)	委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についての意見の申出について
10 月定例会 (R2.10.27)	議 案 (1 件)	鳥羽市教育振興基本計画の令和元年度評価について
11 月定例会 (R2.11.24)	議 案 (4 件)	鳥羽市学校設置条例の一部を改正する条例についての意見の申出について 指定管理者の指定の一部変更についての意見の申出について（鳥羽市民体育館他 5 施設） 指定管理者の指定についての意見の申出について（鳥羽市民体育館他 6 施設） 令和 3 年度教職員人事異動基本方針(案) について
12 月定例会 (R2.12.22)	議 案 (4 件)	就学等に関する規則の一部改正について 鳥羽市教育委員会公印規則の一部改正について 鳥羽市学校給食共同調理場設置条例施行規則の一部改正について 令和 3 年度土曜日の授業の実施（案）について
1 月定例会 (R3.1.27)	議 案 (1 件)	鳥羽市立海の博物館運営協議会委員の委嘱について
2 月定例会 (R3.2.24)	議 案 (5 件)	第 2 次鳥羽市教育ビジョンの策定について 鳥羽市小中学校統合計画（令和 3 年度～令和 12 年度）の策定について 第 3 次鳥羽市子ども読書活動推進計画の策定について 令和 2 年度（令和元年度実績）鳥羽市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 令和 3 年度教職員人事異動（案）について
3 月定例会 (R3.3.29)	議 案 (10 件)	鳥羽市教育委員会規則で定める様式における押印の特例に関する規則の制定について 鳥羽市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部改正について

	鳥羽市学校内科医の委嘱について
	鳥羽市学校眼科医の委嘱について
	鳥羽市学校耳鼻科医の委嘱について
	鳥羽市学校歯科医の委嘱について
	鳥羽市学校薬剤師の委嘱について
	鳥羽市社会教育指導員の任命について
	鳥羽市スポーツ推進委員の委嘱について
	鳥羽市教育施設等長寿命化計画の策定について

【議案の種別】

【議決の状況】（付議事項数：50件）	件数
① 教育に関する事務の管理及び執行の基本方針	7件
② 教育委員会規則、規程等の制定・改廃	11件
③ 学校及びその他教育機関の設置及び廃止	0件
④ 協議会・審議会委員等の任免・委嘱	23件
⑤ 教育委員会事務の点検・評価	2件
⑥ 議会提出議案に関する意見	6件
⑦ 教科用図書採択	2件
⑧ 通学区域の設定・変更	0件
⑨ 文化財の市指定	0件
⑩ その他	0件

3. 活動の周知及び情報発信

ホームページや広報とば、行政放送、とばメール等、様々な手段や方法により情報発信を行いました。

（１）鳥羽市ホームページのトップページにおいて、告知を行いました。

掲載日	所管課	内 容
R2.4.2	学校教育課	学びの基本・家庭学習の手引きについて
R2.4.13	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業期間における教育支援について
R2.4.28	学校教育課	新型コロナウイルス感染症対策に伴う市内幼稚園・小中学校の臨時休校について
R2.5.14	学校教育課	市立幼稚園・小中学校の臨時休校・休園期間の延長等について
R2.5.15	学校教育課	子どもたちのための学習支援コンテンツの紹介
R2.7.14	生涯学習課	一緒におどろう♪とこわかダンス
R2.8.27	生涯学習課	発見！九鬼嘉隆・守隆に関する書状
R2.10.1	総務課	幼稚園の入園募集について

R2.11.5	学校教育課	鳥羽東中学校の制服変更のお知らせと新制服発表会のご案内
R2.11.5	学校教育課	離島留学（寝屋子の島留学事業）
R2.11.13	学校教育課	鳥羽市教育振興基本計画
R3.1.1	総務課	令和2年度高等学校通学費等補助金交付制度について
R3.1.8	学校教育課	第2次教育ビジョンに対するパブリックコメントの募集について
R3.3.30	生涯学習課	東京2020オリンピック聖火の巡回展示について

（２）「広報とば」による情報発信を行いました。

掲載月	担当課	内 容 ・ 件 数
4月1日号	生涯学習課	・5月1日に市民体育館がリニューアルオープンします ・令和2年度生涯学習講座・文化講座受講者募集 ・海の博物館の取り組みを紹介します
5月1日号	総務課	・お知らせ 1件
6月1日号	学校教育課	・お知らせ 1件
7月1日号	生涯学習課	・なるほど！うみはく 海の博物館の「海女の展示」リニューアル ・お知らせ 1件
8月1日号	生涯学習課	・三重とこわか国体開催に向けて！
9月1日号	生涯学習課	・市立海の博物館 秋の特別展のお知らせ
	学校教育課	・お知らせ 1件
10月1日号	生涯学習課	・三重とこわか国体開催に向けて！ ・第62回鳥羽市民体育大会参加者募集 ・お知らせ 1件 ・募 集 1件
	総務課	・令和3年度幼稚園児・預かり保育園児募集 ・お知らせ 1件
11月1日号	生涯学習課	・鳥羽市民体育館が完成しました ・日本遺産観光ガイド養成講座に参加しませんか ・お知らせ 2件
	学校教育課	・お知らせ 1件
12月1日号	生涯学習課	・お知らせ 1件 ・募 集 1件
	学校教育課	・お知らせ 1件

1 月 1 日 号	生涯学習課	・第24回「海の香りのする詩」 ・企画展「菅島-弓祭り・しろんご祭りにつどう島-」の開催 ・令和2年度鳥羽市スポーツ優秀選手・優秀団体表彰者 ・お知らせ 2件 ・パブリックコメント 1件
	学校教育課	・お知らせ 2件 ・パブリックコメント 1件 ・募 集 1件
	総 務 課	・パブリックコメント 1件
2 月 1 日 号	生涯学習課	・三重とこわか国体開催に向けて！ ・お知らせ 1件
	総 務 課	・お知らせ 1件
3 月 1 日 号	生涯学習課	・三重とこわか国体・三重とこわか大会 ・鳥羽市武道館の市立化について
	学校教育課	・お知らせ 1件
連 載	生涯学習課	・図書館だより ・人権文化の花を咲かせよう

(3) 「行政放送」による情報発信を行いました。

放送日		所管課	タ イ ト ル
5 月 1 日 ～6 月 30 日	お知らせ	総 務 課	高校生通学費補助制度の見直しについて
1 月 12 日 ～2 月 19 日	お知らせ	総 務 課	令和2年度高校生通学費等補助制度のご案内について

(4) 「とばメール」やフェイスブックなどを活用し、各種事業のお知らせ、啓発活動を行いました。

4. 教育委員の自己研鑽

研修会への参加や時報「市町村教委」を定期購読し、教育行政の理解を深めるとともに、積極的に各学校等の現場へ出向き、子どもたちとのふれあいや学校の現状把握を行い、委員活動の充実に努めました。

また、関係機関との連携した活動や定期的に委員で勉強会を開催し、委員間での意見交換や情報共有を通じて、自己研鑽に努めました。

開催日	内 容	場 所
R2. 4. 27	鳥羽市総合教育会議	鳥羽市役所
R2. 5. 25	教科書採択協議会	志摩市役所
R2. 7. 27	ミライトーク	鳥羽市役所
R2. 10. 12	第3回市町等教育長会議	伊勢市役所
R2. 11. 24	市長・教育長・教育委員とPTAの語る会	鳥羽商工会議所かもめホール
R2. 12. 22	第2回鳥羽市総合教育会議	鳥羽市役所
R3. 2. 5	鳥羽小学校研究発表会	鳥羽小学校
年間	・ 学校訪問等 25件 ・ 勉強会 9件	各市内学校等 教委スタッフルーム等

5. 教育委員会だより

教育委員会の機関紙である「教育委員会だより」を年に2回発行し、教育委員会に関する活動の広報と情報発信を行いました。

【発行状況】発行回数：2回（4月・10月）

発刊月	内 容
10月 (第20号)	・ ありがとう、鏡浦小学校！ ・ 児童生徒1人1台タブレットが導入されます。～新しい学びのはじまり～ ・ 市学校通学区審議会会長の紹介 ・ 新型コロナウイルス感染症への学校対応について ・ 弘道っ子プロジェクトでGO！～子どもたち主体の学校づくり～ ・ 図録『三島由紀夫と神島』を刊行しました！
4月 (第21号)	・ 1人1台タブレットによる新たな学びが本格始動！ ・ 生まれ変わる鳥羽の教育～持続可能な未来型の学校へ～ ・ 丸山庫蔵寺の参道をボランティア清掃 ・ ありがとう、鏡浦小学校～鏡浦小学校が64年の歴史に幕～

6. 情報公開について

教育委員会が管理・執行する事務に係る情報公開請求の実績は、下記のとおりでした。

・ 行政情報の公開状況

件数	全部公開	部分公開	不受理
8	8	0	—

・ 個人情報の公開状況

公開請求無し。

7. 総合教育会議について

総合教育会議は、市長と教育委員会の対等な執行機関同士が協議・調整を行う場として、平成27度から開催しています。

令和2年度は4月27日と12月22日に計2回開催され、市長と教育委員が「教育の振興に関する施策の大綱の改定」や、令和3年度からの「鳥羽市教育ビジョン」、「鳥羽市小中学校統合計画」の内容等について協議しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う臨時休校措置など、子どもたちの状況や教育現場の課題について意見交換を行いました。

8. 教育委員会の運営に対する外部評価

教育委員会の運営状況等に関係する外部委員からの意見等は、下記のとおりでした。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

（１）教育委員会の会議

■教育委員会の運営については、適切になされています。

（２）活動の周知及び情報発信

■特にスポーツ分野についての情報発信が積極的になされているように見受けられます。一方で、学校教育分野についての情報発信は限定的なものにとどまっている印象が拭えません。学校行事や日常の学校の様子などを積極的に発信することを通して、学校に対する住民からの理解を深めるとともに、学校と地域の連携・協働につながることを期待します。

＜委員 B＞

（１）教育委員会の会議

■例年をベースとして、適切に実施されています。

（２）活動の周知及び情報発信

■新型コロナウイルス感染症対策の一環として、各施設や行事の中止されたことによる行政放送の件数削減は別として、様々な方法で活動の周知や情報発信ができています。

（３）教育委員の自己研鑽

■新型コロナウイルス感染症拡大のなか、感染症対策を講じながら難しい時期に、自己研鑽としての学校訪問を、昨年度に近い件数実施できたことはすばらしい。引き続き継続してもらいたい。教育はオンライン等のソフトを使いその様子はある程度わかると思いますが、しかし学校現場に行ってこそ、子どもの輝きやすばらしさ、場合によってはその困り感、教師の喜び、苦悩を感じることができます。現場に出向いてこそその体感は、今後の具体的な委員の活動視点に繋がっていくことと思います。

（４）教育委員会だより

■鳥羽市全体としての日々の子どもたち、節目ごとの学校や地域の話題は提供できています。各学校だよりとは異なり、より大きな範囲で認められるということは、子どもたちのさらなる励みにもなり、いっそうの自尊感情を高められることとなりますので、その発信姿勢を今後も維持していただきたい。

Ⅱ 「鳥羽市教育振興基本計画」の取り組み

自ら学び心豊かにたくましく生きようとする人間の育成

【計画の体系】

【施策１】学校教育の充実

- (１) 自ら学び、考える力を持つ子どもの育成
- (２) 豊かな心を持つ子どもの育成
- (３) 健やかな心身を持つ子どもの育成
- (４) 安全・安心な学校づくりの推進
- (５) これからの学校

【施策２】地域全体で取り組む教育の推進

- (１) 学校と家庭・地域の連携強化
- (２) 青少年育成活動の充実

【施策３】社会教育・スポーツの振興

- (１) 誰もが学べる生涯学習の推進
- (２) 歴史・文化遺産を生かした郷土学習の推進
- (３) 生涯スポーツを通じた活力ある生活の推進

【施策１】学校教育の充実

(１) 自ら学び、考える力を持つ子どもの育成

- 授業及び幼児教育の工夫・改善、言語活動の充実、家庭学習の推進
- 子どもの実態把握に基づく個に応じた指導の推進と充実
- 自ら課題を見つけ出し、社会の変化に主体的に対応できる子どもの育成
- 自らの将来や生き方を考えさせ、子どもの進路・学力を保障する教育の推進
- 教職員の資質向上と学力と創造力を伸ばす教育の推進

【主な取組と成果】

へき地教育振興事業

R2 決算額	143 千円	(前年度決算額)	142 千円
--------	--------	----------	--------

へき地複式教育に関わる団体への補助などを行い、団体を通してへき地複式校における教育条件の整備等の支援を行いました。

教育振興管理事業

R2 決算額	15,698 千円	(前年度決算額)	2,666 千円
--------	-----------	----------	----------

小学校の教師用教科書及び指導書が改訂され、その調達を行いました。

○学校別児童・生徒数（令和2年5月1日現在）

<小学校>

区分 学校名	児童数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽	1 6 7 (1 8)	6	4	1 0
答志	4 8 (1)	5	1	6
神島	1 1 (1)	3	1	4
菅島	1 4 (1)	3	1	4
加茂	1 2 5 (7)	6	2	8
安楽島	2 4 2 (4)	1 0	1	1 1
鏡浦	1 4 (0)	3	0	3
弘道	6 8 (2)	6	1	7
計	6 8 9 (3 4)	4 2	1 1	5 3

（注）（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は実学級数

<中学校>

区分 学校名	生徒数（人）	学級数		
		普通	特別支援	計
鳥羽東	2 5 6 (7)	9	2	1 1
答志	3 9 (1)	3	1	4
神島	1 1 (2)	3	1	4
加茂	6 9 (1)	3	1	4
長岡	3 9 (1)	3	1	4
計	4 1 4 (1 2)	2 1	6	2 7

（注）（ ）内の数は、特別支援学級児童数（内数）、学級数は実学級数

<幼稚園>

区分 幼稚園名	園児数（人）				学級数
	3歳児	4歳児	5歳児	計	
かもめ	8	15	13	36	3

○学校別教職員数（令和2年5月1日現在）

<小学校>

（単位：人）

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽	1	1	14	1	0	1	18
答志	1	1	7	1	1	1	12
神島	0	1	4	1	0	1	7
菅島	1	1	4	1	1	1	9
加茂	1	1	9	1	0	1	13
安楽島	1	1	14	1	0	1	18
鏡浦	1	1	4	1	0	1	8
弘道	1	1	8	1	0	1	12
計	7	8	64	8	2	8	97

<中学校>

（単位：人）

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽東	1	1	21	1	1	1	26
答志	1	1	7	1	0	1	11
神島	1	1	6	0	0	0	8
加茂	1	1	7	1	0	1	11
長岡	1	1	7	1	0	1	11
計	5	5	47	4	1	4	67

＜幼稚園＞ (単位：人)

区分 幼稚園名	園長	教諭	計
かもめ	1	5	6

学力向上推進事業

R2 決算額	26 千円	(前年度決算額)	43 千円
--------	-------	----------	-------

児童生徒の学力向上を図るため、全国学力・学習状況調査などの結果を基に学力向上委員会で指導方法の改善等を協議し、授業の改善に努めました。

また、新学習指導要領改訂のポイントとそれに伴って小中学校それぞれで課題となることを学び、市内各校に広げていけるよう努めました。

小学校教育振興事業・中学校教育振興事業

R2 決算額	5,543 千円	(前年度決算額)	7,074 千円
--------	----------	----------	----------

各小・中学校に必要な各種教材備品の購入や GIGA スクール構想に伴う ICT 機器の購入を行い教育環境の充実に努めました。また、小学 5 年生を対象とした海の博物館での体験学習や小学 4 年生を対象とした鳥羽警察署ややまだエコセンター等の公共施設の見学を通して学習内容をより一層深めることができました。

理科教育振興事業

R2 決算額	270 千円	(前年度決算額)	218 千円
--------	--------	----------	--------

小学校における理科・算数教育の充実に図るため、各学校の実態に応じた理科・算数の教材備品を整備しました。

また、中学校における理科・数学教育の充実に図るため、各学校の実態に応じた理科・数学の教材備品を整備しました。

教職員研修事業

R2 決算額	330 千円	(前年度決算額)	820 千円
--------	--------	----------	--------

鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質の向上を図りました。

また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け要請訪問を実施し、授業に対しての指導及び助言を行いました。

○令和 2 年度鳥羽市教育研究推進校： 鳥羽小学校

○研究主題： 『命をつなぐ子鳥羽をつなぐ子の育成』

～人や地域とつながる力をつけて未来を創る～

○令和2年度指導主事要請訪問回数： 31回（小学校8校延べ数）

14回（中学校5校延べ数）

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
各教科等の指導のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置づけましたか。 「よくおこなった」の回答率	小学校 0% 中学校 0%	小学校 57.3% 中学校 53.5%	小学校 100% 中学校 100%
授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたか。「よくおこなった」の回答率※5	小学校 12.5% 中学校 20.0%	小学校 71.8% 中学校 87.5%	小学校 100% 中学校 100%
授業の内容はよく分かりますか。 「よくあてはまる」の回答率 ※H26年度に関しては、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙による抽出	小学校 38.1% 中学校 33.6%	小学校 48.6% 中学校 44.5%	小学校 60% 中学校 60%
学習ボランティア等の配置校数	小学校 3校 中学校 0校	小学校 2校 中学校 0校	小学校 7校 中学校 5校

【自己評価と今後の取組】

成果指標としている全国学力・学習状況調査が、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和2年度は実施されなかったため、三重県独自のアンケート調査結果を実績値として活用したことにより、計画目標値と単に比較することができませんが、言語活動については、学級の友だちとの間で話し合う活動を「よく行っている・行っている」と肯定的に回答している小学生が90.5%、中学生が87.5%であるので、今後さらに活動の充実を目指すこととします。

めあて・ねらいについては、「めあて」について「よく行った」は小学校は71.8%、中学校は87.5%、「振り返る活動」については小学校は45.5%、中学校は72.9パーセントとなっています。小中学校ともにまだまだ課題がありますが、引き続き指導・助言を行い、授業の基本の流れの中に取り入れていきたいと考えています。

「授業内容がよく分かりますか」については、鳥羽市独自のアンケート調査より、「よくあてはまる」という回答は、小・中学校とも改善しています。「あてはまる」も含めた肯定的な回答は小学校で89.6%、中学校で83.9%となっており、80%以上の児童生徒

にとって、分かりやすい授業が展開されているといえます。今後も、より分かりやすい授業を充実させていくために、学力向上委員会等をとおして、授業改善に努めます。

学習ボランティアについては、「三重県教育委員会事務局の大学生等の教育アシスタント活用事業」を活用している学校数となっています。各校から募集を行いましたが、コロナ禍により実施が困難な結果となりました。今後も、鳥羽市独自の学習サポーターや学習ボランティアの配置を目指し、授業等でのきめ細かな指導に努め、児童生徒一人一人の学力向上を図っていきます。

成果指標に対して計画目標値を達成することはできませんでしたが、今後も『確かな学力』（「基礎的な知識・技能」「知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」「学習に取り組む意欲」）の向上をめざし、指導方法や学力向上のための取組の結果を検証・評価し、指導方法及び取組の改善を図ります。今、社会においては、問題を解決する力、困難を乗り越える力、コミュニケーション力といった、変化の激しい時代を生き抜くための力が求められています。このため、「基礎的・基本的な知識・技能」に加え、それらを活用して課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力等」、さらには「主体的に学習に取り組む態度(学びに向かう力)」を学力の重要な3要素ととらえ、その育成を図ります。特に、「何を理解しているか、何ができるか」「理解していること・できることをどう使うか」、「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」の視点から必要な資質・能力を身につけられるよう、「どのように学ぶか」を重視した授業実践を心がけます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■成果指標に関して、実績値が計画目標値に達していないことについての検証・分析が必要と思われます。指導主事が果たすべき役割が鍵となることが予想されるが、その対応策を立案するにあたっては、業務の効率化を求めるのみでなく、人員の増加も視野に入れた方策を立案いただきたい。

＜委員 B＞

■へき地教育振興事業については、ぜひ継続していただきたい。

■GIGAスクール構想では、他の市町より早く市として対応し、各学校の児童生徒にタブレットの配布を実施できたことは、教育委員会の描く子どもの将来像の実践として評価できます。しかも、新型コロナウイルス対応策として大いに有効活用ができたと思います。しかし、有効性だけではなくリスクもあっただろうと推察されます。この点については、見過ごすことなく、検証もしていただくとともに、教育委員会の組織の中に、コンピューター等に精通した職員を常駐させることで、日々進化していく技術、ソフトについて各学校へ迅速に対応できる体制づくりが緊急の課題ではないかと思われます。

■流行・終息が読めないコロナ渦の下、その対応もしつつ各小学校、中学校の要請にこたえて、2人の指導主事で45回、各学校の教職員研修事業へ訪問できたことは、素晴らしい。ただ拡大する主事の業務量の現況では、2人体制での指導主事への負担はますます大きいものとなっています。各地では重大な案件も急増していますので、市の行政機関の「子育て支援室」とのさらなる連携を進めつつ、人権、不登校や特別支援を専門とする指導主事の1名の増員を強く要望していただきたい。

(2) 豊かな心を持つ子どもの育成

- 「人権感覚あふれる学校づくり」の推進と人権教育・学習の充実
- 系統性を持った人権教育の取組
- 地域の環境や人材を生かした体験活動の推進
- 郷土の良さを紹介できる子どもの育成
- 道德教育の教育活動全体での推進
- 規範意識を高める日常の取組の推進
- 日常から文化・芸術に親しむ機会の充実

【主な取組と成果】

児童生徒書き初め大会事業

R2 決算額	34 千円	(前年度決算額)	39 千円
--------	-------	----------	-------

市内小中学校の児童・生徒の普段の学習の成果を発表するための機会を提供するとともに伝統文化である「書道」に親しみ、学びを広げるため書き初め作品展を開催しました。

○作品出展数： 小学校：466 人（3 年～6 年）、中学校：413 人（1 年～3 年）

○作品展示場所： 市立図書館、ショッピングプラザハロー、
鳥羽マリンターミナル、鳥羽マルシェ、希望校巡回展示

学校人権教育事業

R2 決算額	105 千円	(前年度決算額)	115 千円
--------	--------	----------	--------

市人権教育推進委員会と市人権フォーラム実行委員会の活動を中心に各校における人権教育の推進に取り組みました。

また、各学校での取組を通して子どもたちが感じた思いや意見を出し合うことで、人権問題に対する認識を深め、感性を高め実践力の育成を図るため人権フォーラムを開催しました。

参加した子どもたちは、普段交流のない他校の子どもたちの発表を聞いたり意見交換などを行うことで更に人権への考えが深められました。

○人権フォーラム参加児童生徒数： 小学生 22 人(8 校)
中学生 20 人(5 校)

子ども支援ネットワーク・アクション事業

子どもたちの自尊感情や学習意欲を高めるとともに、いじめや差別を許さない集団作りを進めるために、答志中学校区で取り組みました。防火パレードやわかめ養殖といった体験活動を数多く行いました。また、学習発表会などで子どもたちが活動を通して学んだことを自ら発信する機会も持ちました。

活力ある学校づくり推進事業

R2 決算額	2,079 千円	(前年度決算額)	2,512 千円
--------	----------	----------	----------

特色ある学校事業を実践させることにより児童の活力を引き出す学校づくりを推進しました。各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取り組みを行い、体験を通して学ぶ児童・生徒活動を推進しました。

○令和2年度各校の主な活動内容

＜小学校＞

- ・鳥羽小学校 校内研修充実事業、地域文化ふれあい事業、芸術鑑賞会
- ・答志小学校 食の体験フェスタ週間、海洋教育関連体験学習など
- ・神島小学校 島っ子太鼓活動事業、神島っ子ガイド活動事業など
- ・菅島小学校 「島っ子ガイド」事業、「地域とともにある学校づくり」など
- ・加茂小学校 演劇鑑賞事業、米づくり体験、花壇整備など
- ・安楽島小学校 アサリの養殖体験、芸術（演劇）鑑賞会、花壇整備など
- ・鏡浦小学校 学校間交流、伝承文化体験、学力向上（演劇講座）など
- ・弘道小学校 文化・芸術体験事業、地域人材によるクラブ活動事業など

＜中学校＞

- ・鳥羽東中学校 香しき文化構築事業、花開く人権感覚醸成事業など
- ・答志中学校 ワカメ養殖体験学習、藻場再生体験学習、文化祭など
- ・神島中学校 人権学習推進事業、学校間交流事業、芸術工芸体験事業
- ・加茂中学校 キャリア教育推進事業、安全教育推進事業、文化活動奨励事業など
- ・長岡中学校 特設クラブ育成事業、開かれた学校推進事業、職業体験学習事業

友好都市提携事業

R2 決算額	0 千円	(前年度決算額)	124 千円
--------	------	----------	--------

友好都市である兵庫県三田市との学習交流を行うことで、お互いの住む地域の特性や素晴らしさを学び地域に対する認識を深めて郷土愛の育成を目指しました。

○交流内容

三田市立母子小学校への学校間交流事業

(新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止)

Zoom によるオンライン交流事業 (学期に1度実施)

人権教育推進事業

R2 決算額	2,243 千円	(前年度決算額)	2,697 千円
--------	----------	----------	----------

市人権教育研究協議会や学校関係・地域団体とも連携しながら、児童・保護者・地域がともに人権について学ぶ学習会や講演会を開催し、人権教育を推進しました。

市人権教育研究事業補助金については、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた事業が中止や延期となったため、補助金を減額することとなりました。

講演会・学習会	回数	参加者数 (延べ人数)
	3	178

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
各小中学校における道徳教育の年間指導計画、全体計画の別葉の作成	7%	100%	100%

【自己評価と今後の取組】

計画目標値とした各小中学校における道徳教育の年間指導計画、全体計画の別葉の作成については、道徳教育推進担当者会議において年間指導計画及び全体計画の別葉を作成、見直しを行いました。各校の研修会のさらなる充実を図るとともに、成果と課題を明らかにし、必要に応じて改善を図るなど、引き続き道徳教育の推進を図ります。

今後は、各小中学校において、教員一人一人が指導力を高め、子どもたちが、答えが一つでない道徳的な問題について「考え、議論する」授業づくりを行っていきます。そして、子どもたちの発達段階に応じて、規範意識や他者とともによりよく生きようとする意識・生命を大切にする心などを育むため、特別の教科道徳を要として、各教科等の授業のほか、異学年との交流、ボランティア活動、地域での体験的な学習等の取組を推進していきます。

また、子どもたちが一人の人間として大切にされているという実感のもと、自己や他者を尊重しようとする人権意識を育むことを大切にします。子どもたちは、これまで、社会にあるさまざまな人権問題について知り、その問題を解決するための方法や行動に

ついて学んだり、集団生活の中でより良い人間関係を築き、お互いの人権を尊重し合って生きることの大切さを学んだりする学習に取り組んできました。今後は、さらに人権問題を自分の問題と重ねてとらえ、具体的な行動につながる学習活動を進めていく必要があります。社会にあるさまざまな多様性を認め合い、人権についての理解と認識を深め、人権尊重の行動につながる意欲・態度や技能を身につけられるよう取り組みます。

【委員からの意見等】

〈委員 A〉

■道徳教育・人権教育に関する取り組みは充実しており、肯定的に評価することができます。引き続き、発達段階に応じた適切な教育活動が展開されることを期待します。また、地域に立脚した教育を通じて豊かな心をもつ子どもを育成する取り組みについても、一層の発展を期待したい。

〈委員 B〉

■活力ある学校づくり推進事業について、地域性、立地性等の特色がより前面に出て充実したものとなっていますが、昨年度と今年度の内容がまったく変わっていないことが少し気になります。移り行く時代を反映しているものとなっているのか、しっかりと PDCA サイクルをまわし、さらなる高みへの改善を促していただきたい。また、教育委員会として「芸術鑑賞」等、市全体として取り組める内容については、合同での開催などを検討してください。今後、各学校の地域性を踏まえつつ、海洋教育を大きな柱に位置付け、鳥羽市としての「特色」をより前面に出すという考え方は大いに評価できます。

■道徳教育及び人権教育について、「鳥羽市教育振興基本計画」の最終年度となることから、十分な検証が行われています。さらなる道徳力の育成や多様性を踏まえた人権意識の向上といった今のニーズに、教育委員会が重点的に対応していく姿勢は大事なことだと思います。

（３）健やかな心身を持つ子どもの育成

- 基本的な生活習慣の確立
- 郷土の文化や食材を生かした食育の推進
- 学校給食の工夫
- 命の教育・性に関する教育の教育活動全体の中での推進
- 幼少期におけるさまざまな運動経験の機会の充実
- 運動を通じた学校間交流
- 関係機関と連携した特別支援教育の充実

【主な取組と成果】

心身障がい児就学指導事業

R2 決算額	12 千円	（前年度決算額）	25 千円
--------	-------	----------	-------

心身障がい児就学指導委員会（医師、教員、保育士など 10 名で構成）を年間 8 回開催し、新年度に小・中学校に入学予定の特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の保護者に対して、適切な就学指導を行いました。

教育支援センター事業

R2 決算額	1,193 千円	（前年度決算額）	1,025 千円
--------	----------	----------	----------

様々な理由により不登校など学校生活に悩みをもつ児童・生徒の実態に即した指導や支援を行い、児童・生徒の自立支援を行うため教育支援センターHARP に専任指導員 1 人を配置し通級している児童・生徒へ生活指導や学習支援などを行いました。

また、学校への定期的な訪問を行い、集団不適応を示したり、不登校傾向にある児童・生徒に対して支援を行いました。

小学校管理業務・中学校管理業務

R2 決算額	35,670 千円	（前年度決算額）	0 千円
--------	-----------	----------	------

市内小・中学校に在籍する様々な障がいのある児童・生徒や特別な支援を必要とする児童・生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員を配置し、学校における日常活動の介助や、学習活動等のサポートを行い、児童・生徒の自立に向けて支援を行いました。

○支援員配置校

<小学校>

鳥羽小（4 人） 答志小（2 人） 菅島小（1 人） 加茂小（2 人） 安楽島小（4 人）
鏡浦小（1 人） 弘道小（1 人）

<中学校>

鳥羽東中（3 人） 神島中（1 人） 加茂中（1 人） 長岡中（1 人）

児童生徒支援事業

R2 決算額	1,623 千円	(前年度決算額)	1,973 千円
--------	----------	----------	----------

子どもたちが心にゆとりをもって学校生活を送るため、気軽に悩みなどを相談できるよう、心の教室相談員3人を学校とHARPに配置しました。授業や休み時間など様々な状況で子どもの様子を観察し、積極的に子どもとの会話を行うことにより、人間関係を構築し、相談や話し相手となり、子どもの心の安定に努めました。また、相談内容については担任に報告し今後の指導の方向性を統一していくようにしました。

○心の教室相談員配置校：安楽島小（1人）、鳥羽東中（1人）、HARP（1人）

特別支援教育体制整備事業

R2 決算額	30 千円	(前年度決算額)	105 千円
--------	-------	----------	--------

発達障がいを含むすべての障がいのある児童・生徒の特別支援教育を総合的に推進するため、それらに関する専門的知識や経験を有する巡回相談員を派遣し、当該校の教員などに支援の必要な児童・生徒に対する指導内容や指導方法に関する助言を行いました。

また、途切れのない支援体制の構築を目指した保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校との引き継ぎにおいて、児童・生徒に対する個別の教育支援計画や指導計画の作成に向けた助言を行いました。

○令和2年度巡回相談回数（支援を要する児童・生徒数）

小学校：1回

中学校：2回

○教員対象研修会 2回開催

特別支援教育就学対策事業

R2 決算額	1,032 千円	(前年度決算額)	1,259 千円
--------	----------	----------	----------

心身に障がいのある児童・生徒の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級、通級指導教室設置校の機能の充実を図りました。

特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者からの申請により、世帯の所得に応じて就学に必要な経費の扶助を行い保護者の経済的な負担の軽減を図りました。

また、特別支援学級、通級指導教室における教育活動で必要となる備品の購入を行い、教育環境の整備を行いました。

○特別支援教育就学奨励費受給者数 小学校：8人 中学校：4人

小中学校（園）保健振興事業	R2 決算額	20,024 千円	（前年度決算額）	16,233 千円
---------------	--------	-----------	----------	-----------

学校保健安全法に基づき園児、児童生徒及び教職員の健康保持と増進を図るため、学校医・学校歯科医及び薬剤師等各機関の協力の下、健康診断・各種検査を行いました。

また、幼稚園、小中学校の管理下における災害に対し、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入し、園児、児童・生徒の災害における医療費等の給付を行いました。

○令和２年度 災害共済給付状況

学校種別	給付件数（件）	給付額（千円）
小学校	43	208
中学校	169	1,641
幼稚園	0	0
合計	212	1,849

学校給食運営事業	R2 決算額	91,439 千円	（前年度決算額）	80,729 千円
----------	--------	-----------	----------	-----------

学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を目的とし栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通して食生活全般を通した食育の推進を図りました。

年２回（１１月・２月）、地元でとれる新鮮な旬の食材の給食のメニューを取り入れ、「自然豊かな鳥羽」の良さを食を通して、児童・生徒が再確認とし、鳥羽を愛する心（郷土愛）を育むために「鳥羽が好きふるさと給食」を実施しました。（市内小中学校、幼稚園、同一メニュー）

学校給食衛生管理基準に沿った学校給食を実施するため、給食調理場の設備、備品の整備を行いました。

また、経済的に困窮し就学困難な児童生徒の保護者に対して学校給食費の援助を行いました。

令和２年度４月から中央共同調理場の調理業務が民間委託となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休校をはじめ、夏休みの短縮による給食の実施など、様々な制約があるなかでの民間委託となりました。

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
コーディネーショントレーニングの 体育科での実施	4校	13校	12校
学校給食における地場産物（県内産） 活用割合	36%	45%	45%

【自己評価と今後の取組】

目標値とした、すべての小中学校の体育科において、コーディネーショントレーニングを実施できています。今後も、子どもたちの体力・運動能力の向上とともに学習意欲や自己肯定感の向上につなげていくため、コーディネーショントレーニングを推進していきます。

令和2年度より中央共同調理場の調理業務が民間委託となりました。今後も安全安心な学校給食の提供に向け、取り組みを進めていきます。成果指標である学校給食における地場産物活用割合については、地場産物（県内産）の活用を進めるとともに、鳥羽産の食材を使った特別給食「鳥羽が好きふるさと給食」を実施し、食育の授業に地域の生産者を招き、地元の食材について給食をとおして学習をすることができました。学習内容については、各種メディアでの報道や給食だより等で保護者の方にも伝えることができました。

今後も、地域で収穫した農産物や水産物が食材となる過程を学び、そこに携わる多様な人たちの生き方や思いを学ぶ取組を進めるとともに、食材を通して、自然の豊かさを知り、食の大切さと感謝の気持ちを学ぶ食育を進めていきます。さらに、安全・安心でおいしい地元の食材を使用し給食の充実を図ると共に、食を通じてふるさとや故郷で働く人々の生き方や思いを知る「鳥羽が好きふるさと給食」の一層の推進に努めます。

これまで、支援の必要な子どもに早期から関わり、就学前から小学校、中学校へと途切れのない支援を行ってきました。また、障がいのある子どもたちと障がいのない子どもたちが、共に学ぶことにより互いのよさを認め合うことができるようインクルーシブ教育にも取り組んできています。今後も、子どもたちが一人一人の教育的ニーズに応じた学びの場において、適切な指導・支援を受けられるよう環境整備に取り組む必要があります。

不適応・不登校傾向の子どもは年々増加傾向にあり、その要因・背景はより複雑化・多様化しています。教育支援センター担当職員や専門家による教育相談などを通して一人一人の悩みに寄り添い、個々の状況に応じた支援を行っています。今後も子どもたち

が安心して学ぶことができる居心地のよい学校づくりや魅力ある学校・学級づくり、特別な支援を必要とする子どもや不適応・不登校傾向の子どもそれぞれに応じた支援を行い、一人一人の自立と社会参画に向けた取組を推進します。

また、経済的に困難な家庭に対しては引き続き就学支援を行い、どの子どもも意欲的に学習に取り組み、進路選択に対する希望が持てるようにします。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■コーディネーショントレーニングの実施や学校給食における地場産物の活用では一定の成果がみられます。また、様々な支援事業も着実に展開されています。

＜委員 B＞

■様々なニーズに対応できるような体制が取られています。教育支援センター HARP では、県配置の1名の専任指導員に市独自でさらに1名配置し、不登校など学校生活に不適応な状況を示す児童・生徒の実態に即して、よりきめ細やかな指導や支援を執り行うことができ、健やかな心身を持つ子どもの育成へと繋がっていると思います。

■新鮮で旬の食材をおいしく食べられる、地元食材を使った年2回の「鳥羽が好きふるさと給食」では、地域への愛着と地元生産者の思いや食への関心を高め、食育の推進に結び付いていること、「郷土愛」「自尊感情」を高めていく観点からも継続拡大（学期に1回）を期待したい。

(4) 安全・安心な学校づくりの推進

- 防災・減災教育の推進
- 避難訓練の計画的な実施
- 防災・減災教育指導資料の作成と活用
- 耐震化の推進
- 施設の安全対策と長寿命化対策

【主な取組と成果】

小学校管理業務

R2 決算額	79,190 千円	(前年度決算額)	113,282 千円
--------	-----------	----------	------------

小学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど小学校で使用する一般管理備品の購入を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う夏休みの短縮により、児童の熱中症予防のため、レンタルしたマイクロバスによる下校時の送迎を行いました。

そのほか鏡浦小学校の閉校記念事業に対して補助金の支出や、統合先である安楽島小学校への通学に必要なスクールバスの購入を行いました。

中学校管理業務

R2 決算額	51,136 千円	翌年度繰越額	5,568 千円	(前年度決算額)	82,733 千円
--------	-----------	--------	----------	----------	-----------

中学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど中学校で使用する一般管理備品の購入を行いました。また、鳥羽東中学校の自動火災報知設備の改修を行ったほか、神島小中学校教員住宅の改修を行い、教職員の住環境向上や快適な教育環境の整備や維持管理に努めました。

幼稚園管理業務

R2 決算額	42,942 千円	(前年度決算額)	43,652 千円
--------	-----------	----------	-----------

幼稚園園舎等の補修工事等を行うとともに、幼稚園で使用する一般管理備品を購入し、安全・安心な施設の管理運営を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症予防のため、保育室へ空気清浄機や、消毒液自動噴霧器の設置等を行いました。

○幼稚園保育

(単位：人)

	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
園児数（令和 3 年 3 月時点）	9	1 6	1 4	3 9

○預かり保育

登録園児数： 21人

延べ開園日数： 191日

延べ利用園児： 723人

学校安全総合支援事業

R2 決算額	1,320 千円	(前年度決算額)	577 千円
--------	----------	----------	--------

市内小中学校において「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」を活用し、授業実践を行いました。また、ESD（持続可能な社会のための教育）の視点に立った防災・減災教育について気仙沼市で実践を進めた及川幸彦氏（東京大学大学院教育研究科附属海洋教育センター地球環境学博士）を招き、防災・減災教育講演会を開催しました。

鏡浦、弘道、加茂、答志小学校を実践推進校に指定し、学校防災アドバイザーである三重大学川口准教授から指導助言をいただき、児童が主体的に防災・減災に取り組む活動を行いました。

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
学校施設の耐震化率（小中学校施設の耐震化率）※成果指標は、鳥羽市第5次総合計画 1-1-1 まちづくり指標より掲載	93.1%	100%	100%
緊急地震速報受信システムの設置数	幼稚園 1園 小学校 3校 中学校 1校 (設置率約33%)	幼稚園 1園 小学校 8校 中学校 5校 (設置率100%)	幼稚園 1園 小学校 7校 中学校 5校 (設置率100%)

【自己評価と今後の取組】

学校施設の耐震化については、平成28年度に神島小中学校校舎建設工事が完了したことにより、市内の小中学校の校舎及び体育館の全てが耐震化されました。

令和2年度には、国のインフラ長寿命化計画及び鳥羽市公共施設等総合管理計画に基づき、教育委員会が所管する学校教育系施設、子育て支援施設、市民文化系施設、社会教育系施設に対する個別計画として、鳥羽市教育施設等長寿命化計画の策定を行いました。今後は計画に基づき、大規模改修や長寿命化改修、改築を計画的に進めていきます。

また、時代に応じた快適な学習環境を構築していくため、教職員や児童・生徒用トイ

レの洋式化や空調整備のほか、照明のLED化や非構造部材の耐震化等を進め、学習環境の安全・安心・快適化を推進していきます。

学校統合計画の推進により、今後、廃校施設の増加が見込まれることから、閉校後の学校施設を含めた公共施設の管理方針や活用方針等について検討していく必要があります。

すべての小中学校に緊急地震速報受信システムが設置され、システムを活用した避難訓練を各小中学校で実施しています。今後は緊急地震速報受信システムの更新を進めていきます。

危機意識・危機管理意識を更に高め、災害時への対応に万全を期していくため、平成24年度より鳥羽市防災事業を実施してきました。今後も各地域の特徴に応じた防災・減災教育の推進に努めます。小学校においては、平成30年度から令和2年度までにすべての学校を防災学習拠点校として指定し、学校防災アドバイザーとして専門家を迎え、防災・減災教育の推進を継続してきました。令和3年度以降は中学校区として取組を進め、地域との連携に注力していきます。鳥羽市が置かれる地理的状况から、今後も地域や各校の実態に合った防災・減災教育を継続して充実させ、持続可能な取組を行っていきます。

【委員からの意見等】

〈委員 A〉

■学校施設の耐震化や緊急地震速報受信システムの設置では計画目標値を達成しており、着実な行政事務を確認することができます。施設設備の充実についても、国や市の計画に基づきつつ、教育委員会独自の視点を有しながら遂行していただきたい。

■防災・減災教育については、東南海地震や大雨災害等、様々な災害を視野に入れつつ継続をいただきたい。

〈委員 B〉

■新型コロナウイルス感染症の拡大により各学校において、来校者への検温、消毒液自動噴霧器の設置といった一定水準の予防策、機器の設置ができています。今後も来校者への行動・検温等を記入するアンケートの設置や機器の点検等を行い、新型コロナウイルス感染症拡大への予防体制を継続してください。

■各学校が取り組んでいる「防災・減災」教育の推進にとって「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」は有意義なものであります。職員の異動も進んでいることから、各学校の立地の特性をしっかりと共有し、また活用方法の検証をした上で、より自主的な児童、職員の育成に向けてさらなる推進を期待したい。

(5) これからの学校

- 小中学校の適正規模・適正配置の推進
- 学校施設の適切な管理と良好な学習環境の提供
- ICT機器を活用した教育の推進
- 国際理解教育の推進
- 学校図書館の効果的な活用

【主な取組と成果】

外国人英語指導業務委託事業

R2 決算額	12,870 千円	(前年度決算額)	8,150 千円
--------	-----------	----------	----------

かもめ幼稚園及び市内小中学校に外国人英語指導助手3人を派遣し、外国語指導の補助や、子どもたちとの触れ合いにおいて、園児や児童・生徒のコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図りました。

英語検定チャレンジ事業

R2 決算額	610 千円	(前年度決算額)	668 千円
--------	--------	----------	--------

国際観光文化都市である鳥羽市において、児童・生徒の英語への親しみや興味、関心を引き出すとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図る力を育てるため、小学校と中学校において、英検 Jr と英検を実施しました。

○英検 Jr 小学6年生：111人

○英検 中学1年生：95人 中学2年生：140人

学校図書館整備事業

R2 決算額	4,884 千円	(前年度決算額)	4,436 千円
--------	----------	----------	----------

市内小中学校の学校図書館に司書資格を有する者を派遣し、図書館の環境整備や図書担当教員への指導や助言、図書館を活用した授業を推進するなど子どもたちの読解力や文章力の向上に努めました。

○小学校：33日/年 中学校：16日/年

高度情報通信システム利用教育事業・コンピュータ教育事業

R2 決算額	100,961 千円	(前年度決算額)	5,417 千円
--------	------------	----------	----------

GIGA スクール構想に伴う児童生徒用1人1台タブレット端末の購入をはじめ、ICT教育に必要な機器の購入を行うとともに、通信ネットワーク環境や端末管理に係るライセンス契約など ICT 教育環境の整備を行いました。

また、高速通信ネットワーク環境整備として、各小学校に校内 LAN や電源キャビネットの整備を行いました。

<備品購入>

○iPad (Wi-Fi32GB 及びキーボード) 小学校：689台 中学校：414台

○大型提示装置 小学校：21台 中学校：8台

○教師用端末 小学校：34台 中学校：39台

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
通学区の再編（統廃合に伴う通学区の再編）※成果指標は、鳥羽市第5次総合計画 1-1-1 まちづくり指標より掲載	小学校9校 中学校5校	小学校8校 中学校5校	小学校7校 中学校5校
タブレット型端末・プロジェクタ・スクリーン設置率 (設置学級数／全学級数)	小学校 16% 中学校 18%	小学校100% 中学校100%	小学校 60% 中学校 60%
学校図書館司書配置数	2校	13校	12校

【自己評価と今後の取組】

通学区の再編については、平成27年度に策定した「鳥羽市小中学校統合計画」に基づき、平成29年4月に桃取小学校を鳥羽小学校へ統合し、令和3年4月には児童数の減少により鏡浦小学校を安楽島小学校へ統合しました。菅島小学校の統合については、保護者や地域住民と協議を重ねましたが、理解を得ることが困難な状況であり、統合には至っていません。

令和2年度には鳥羽市学校通学区審議会からの答申を踏まえ、新たな「鳥羽市小中学校統合計画（令和3年度～令和12年度）」を策定しました。今後は計画に基づき、令和4年4月の長岡中学校の統合に向け、スクールバス等の運行など、通学条件の整備や閉校に向けた整理を計画的に行っていきます。また、加茂中学校や答志中学校の統合に向けては、地域住民や保護者等との協議を継続して実施し、地域や子どもたちにとって、より良い教育環境を見据えた学校統合を実施・検討し、小中学校の適正規模・適正配置の推進を図っていきます。

幼稚園については、共働き世帯の増加による保育ニーズの増加や、保育料の無償化等により、園児数の減少が顕著となっています。幼児期における質の高い教育・保育の提供や保育量の拡大等に対応していくため、今後の公立幼稚園のあり方について、市内保育所の適正配置等の推進に合わせて、認定こども園化の検討を進めていく必要があります。

令和2年度には、GIGA スクール構想に伴い全児童生徒用のタブレット端末の購入が進み、合わせて教職員のタブレット型端末の購入や大型提示装置、周辺機器の購入を行いました。今後は、ICT教育の更なる実践の推進に向けて、情報教育推進委員会の活性化を図るなど取り組みの強化が必要です。

図書館司書については、平成29年度から8小学校すべてに配置し、平成31年度からは、5中学校へも配置を行い、子どもたちの読書に対する興味・関心を高め、読書活動を推進することができました。今後は、図書館司書との協力により、授業での活用も含め、読書活動の充実を目指していきます。

鳥羽市内すべての幼稚園・小学校・中学校に外国人英語指導助手（ALT）を配置したり、小学校6年生対象のイングリッシュデイ事業を実施したりすることで、実際に英語を使ったコミュニケーションの場づくりを行ってきました。また、子どもたちは英検に挑戦することで英語学習への意欲を高めています。今後も、ALTの配置と英検は引き続き実施し、さらに、鳥羽市に来る外国人観光客への英語を使用するボランティアガイドを実施し、英語でコミュニケーションを取る機会を作ります。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■ICT 機器を活用した教育や国際理解教育の推進、学校図書館の効果的活用については、子どもの将来を見据えた事業として展開されており、今後とも継続していただくことを望みます。また、小中学校の適正規模・適正配置や幼稚園の在り方の検討については、中長期的視点にも立ちつつ、子どもにとって適切な環境を実現するための最良の判断を望みます。

＜委員 B＞

■図書館環境の整備を進め、子どもたちの「本」への興味関心を育むため、司書資格を有した専門家の派遣を市独自に進めています。ゲーム中心の生活を送る子どもたちが多くなっている中、読書離れの抑制や子どもの想像力の育成、または教師の授業での図書館活用推進に大いに寄与できるものであると評価できます。今後、一人当たりの読書数、図書館利用回数等を数値化することで、その効果の検証と評価をすすめていく必要があるのではないかと思います。

■児童生徒数の減少に歯止めがかからない中、今後、中学校の統廃合をさらに進める新たな「鳥羽市小中学校統合計画」の実施では、統合される学校の子供達に不利益が生じないきめ細やかな推進を期待したいと思います。特に小規模校から通学することになった子どもや現在不登校傾向にある子どもたちにとって、より良い教育環境となるチャンスにしていきたい。

【施策 2】地域全体で取り組む教育の推進

（1）学校と家庭・地域の連携強化

- 家庭・地域との連携推進
- 学校評価の充実
- 家庭・地域の教育力の向上

【主な取組と成果】

教育振興管理事業（再掲）

R2 決算額	15,698 千円	（前年度決算額）	2,666 千円
--------	-----------	----------	----------

学校運営協議会委員や学校評議員を委嘱し、意見や助言をいただくことにより、地域及び家庭と学校との連携を図り学校運営に生かすように取り組みました。

寝屋子の島留学事業

R2 決算額	659 千円	（前年度決算額）	1,024 千円
--------	--------	----------	----------

答志中学校区をモデル地区として離島留学に取組み、実施委員会との協議や打合せを実施しました。また、研修会の実施や留学生を受入れるためのPR活動を実施し、令和2年度4月より島親（里親）留学1名と家族留学3人の受け入れを行いました。

学校ボランティアパートナーシップ事業

R2 決算額	36 千円	（前年度決算額）	47 千円
--------	-------	----------	-------

読み聞かせのボランティア団体「ミルキーウェイ」と「読み聞かせの会」の協力を得て、希望する小学校を訪問し絵本や紙芝居を用いた読み聞かせを行いました。学校での読書指導と合わせ児童の読書への関心・意欲の向上を図り、想像力や感性を豊かにすることができました。

○令和2年度学校訪問回数

ミルキーウェイ 4回

読み聞かせの会 9回

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 （実績値）	令和2年度 （計画目標値）
学校ボランティアの活用数	小学校 5校 中学校 1校	小学校 8校 中学校 5校	小学校 7校 中学校 5校
学校関係者評価の公表数	小学校 5校 中学校 4校	小学校 8校 中学校 5校	小学校 7校 中学校 5校

【自己評価と今後の取組】

活力ある学校づくり事業をでは、地域からの特色ある人材を講師やボランティアとして協力いただき、さまざまな体験活動をとおして、子どもたちが地域のよさや課題に気づき地域の未来について考え行動する力が身につくよう取り組みました。また、保護者や地域の方々が、学校運営に参画し、地域と共にある学校づくりに向け取り組みを進めました。

学校関係者評価の公表については、すべての学校が実施しています。家庭・地域・学校が三位一体で教育を行い、それぞれが連携した学校づくりをさらに進めていくために、全校実施を継続していきます。

令和2年度現在、菅島小学校が学校運営協議会を設置しており、学校運営協議会において学校の教育目標や課題について話し合ったり、地域の方々の知識や経験、技能を活用した学習や体験活動等を行ったりしています。それらの活動を通して、地域全体で子どもたちの豊かな成長を支えています。今後、他の小学校においても段階的に学校運営協議会を設置し、学校運営に地域の方々や保護者等が参画することを通して、学校・家庭・地域の関係者が目標や課題を共有し、それぞれの地域ならではの特色を生かした学校づくりを進めていきます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■学校ボランティアの活用数、学校関係者評価の公表数ともに計画目標値を達成しており、肯定的な評価を行うことができます。地域や家庭の状況が変化しつつある面があることにも留意しながら、学校と地域・家庭との連携強化を図っていただきたい。

＜委員 B＞

■寝屋子の島留学事業について、この事業を推し進めていくことについては、海洋教育の推進とこの留学制度が始まった経緯を踏まえつつ、この数年間の評価・検証をしてください。地域住民の意見やモデル地区として受け入れ学校での再検証を丁寧に行ったうえで、意義を捉え直す時期でもあると思います。それを基本にして、今後の見通しをしっかりと検討していただきたい。

■それぞれの地区の特性を踏まえて「地域の学校」として、そこに住む方々の知識や経験、技能を活用できるシステムを構築していくことは大事なことだと考えます。

（２）青少年育成活動の充実

- 次世代を担う青少年の育成
- 地域社会の中で子どもを育てる環境づくり

【主な取組と成果】

放課後子ども教室推進事業

R2 決算額	631 千円	（前年度決算額）	585 千円
--------	--------	----------	--------

加茂小学校区、安楽島小学校区、鳥羽小学校区において、地域の皆さまの参画を得ながら、水曜日に「かもっこ」・「あらっこ」・「とびっこ」を開催しました。

事業の推進にあたっては、コーディネーターに意見をいただきながら、まちなみ水族館やハロウィンで遊ぼうなどの工作の他、バドミントンやボッチャなどのスポーツを行い、子どもたちの放課後の安全安心な居場所づくりに努めました。

各教室別内訳	回数（回）	参加者 延べ人数（人）	登録者数（人）
かもっこ放課後子ども教室	10	302	59
あらっこ放課後子ども教室	20	556	133
とびっこ放課後子ども教室	5	149	58
計	35	1,007	250

青少年サポートセンター運営事業

R2 決算額	1,721 千円	（前年度決算額）	1,820 千円
--------	----------	----------	----------

サポートセンターによるパトロール（週3回）のほか、夏休み中には市内一円の夜間パトロールを実施し、青少年の非行防止と健全育成に努めました。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、赤崎まつり及びみなとまつりの開催が中止になったことに伴い、祭り当日の夜間パトロールも中止となりました。

○指導員の巡回指導等実施状況

実施内容	回数（回）	参加人数（人）	備考
随時パトロール	104	104	
合同パトロール	5	10	
特別合同パトロール	0	0	コロナ禍により中止
啓発活動	0	0	コロナ禍により中止

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
青少年健全育成活動 巡回指導参加者数	286人	307人	251人	114人	300人
放課後子供教室設置数	2教室	2教室	3教室	3教室	3教室

【自己評価と今後の取組】

鳥羽市青少年サポートセンターでは、日常活動として職員による見まわりや巡回指導等を中心に実施しました。

また、市内の祭り開催に合わせ、鳥羽警察署や学校・保護者等と連携し、合同パトロールを例年実施していましたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となりました。

巡回指導参加者数は減少しましたが、青少年の健全育成等のため、各種団体と連携・協力しながら活動を進めていきます。

放課後子ども教室については、加茂小学校区（かもっこ）、安楽島小学校区（あらっこ）及び鳥羽小学校区（とびっこ）において開催し、まち探検や料理作り教室、バドミントン、ボッチャ等のスポーツ教室等、多岐にわたる体験を実施しました。

今後も地域のみなさまの参画を得ながら、子どもたちの安心安全の居場所づくりや地域の方々との交流を実現するため、引き続き取り組んでいきます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■ 青少年健全育成活動巡回指導参加者数が計画目標値に達していないことについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うものであり、やむを得ないものであります。したがって、当該指標についても否定的な評価をする必要はないものと思われま。また、放課後子ども教室についても、コロナ禍の中で細心の注意と工夫のもとで実施されており、運営者への敬意を表したい。

＜委員 B＞

■放課後子供教室事業が、まち探検、ケーキ作り、様々なスポーツと頭も体も使う多岐にわたる活動で、内容が工夫され充実したものになっています。鳥羽市全域で子どもたちの育ちを支えられる事業に発展できればと考えます。

■青少年サポートセンターによる週3回の「見守り活動」や「合同指導」を継続は、青少年をより良い方向に導くということで意義のあるものです。ただ「見守り活動」について、最近の青少年の生活実態との整合性を検証していただくとともに、日々進化と変化が激しく多様化する情報化社会において、現地に足運ぶだけではない健全育成活動のスキルの取り入れを検討していただきたい。

【施策 3】社会教育・スポーツの振興

（1）誰もが学べる生涯学習の推進

- 生涯学習講座の充実
- 図書館運営事業の充実
- 第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
- 人権を尊重する啓発・学習活動の推進
- 地域づくりに関わる人材育成の推進

【主な取組と成果】

社会教育事務局運営事業

R2 決算額	39,805 千円	（前年度決算額）	41,470 千円
--------	-----------	----------	-----------

社会教育委員会を開催し、本市の取組みについて協議しました。また、「第24回海の香りのする詩」では、市内の小学生（5・6年生）・中学生を対象に実施し、619点の作品応募があり、各学校において表彰者への表彰状の授与を行いました。

生涯学習推進事業（成人式）

R2 決算額	185 千円	（前年度決算額）	52 千円
--------	--------	----------	-------

鳥羽市民体育館サブアリーナ完成後初めての開催となる成人式は、新成人12人の実行委員会を中心に、テーマ「胸を張れる大人への一歩、はばたけ未来へ」を掲げ、開催しました。

また、実行委員会が作成した「思い出のピクチャー」を上映するほか、「鳥羽市2021成人式」のロゴが入ったタンブラーを記念品として贈りました。

新型コロナウイルス感染症予防対策の一環として、事前参加申込制や人数制限などの対策を講じました。

新成人式参加者数（人）	保護者式典参加者数（人）
123	27

人材育成講座「地球塾」事業

R2 決算額	0 千円	（前年度決算額）	775 千円
--------	------	----------	--------

人材育成講座「地球塾」については、新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度の講座を中止にしました。

また、市内小学4年生から6年生を対象に実施している「とばっこ検定」については、今年度から6年生の「鳥羽城と九鬼嘉隆」をテーマにした検定を開始し、4年生から6

年生の全員が検定に合格しました。

検定に向けた出前講座については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1校の実施に留まりました。

講座種類	回数（回）	参加者延べ人数（人）
郷土学習出前講座	1	28

社会教育関係団体育成事業

R2 決算額	1,277 千円	（前年度決算額）	2,545 千円
--------	----------	----------	----------

社会教育団体の活動に対して補助金を交付し、各団体の自主的な活動を支援し、歴史、文化の継承や青少年等の健全育成を図りました。

○主な活動内容

助成団体	活動内容
鳥羽市 PTA 連合会	単位 P T A 相互の連携を図り、学校・家庭・社会における児童・生徒の健全育成に努めました。当初計画した会議等につきましては、予定通りに実施できませんでした。
鳥羽市青少年育成市民会議	コロナ禍の中、感染症予防対策を取り、みんなで凧作り教室、新春凧あげ大会、スターウォッチングを開催しました。子どもフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。
鳥羽市文化協会	文化活動の促進・意識高揚を図るため、「市民文化祭」を開催する予定で準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、急遽中止となりました。

鳥羽郷土史会	郷土の歴史文化を次世代に継承するため、学習会を実施し、会報・会誌を発行しました。
鳥羽恐竜研究振興会	新型コロナウイルス感染症の影響により、夏休みの宿泊体験を中止しました。これまで安楽島小学校にて保管されていた鳥羽竜に関する資料等を門野幾之進記念館の一角へ移し、展示や化石レプリカ作り体験ができるスペースとしました。

公民館維持管理事業

R2 決算額	6,977 千円	(前年度決算額)	8,638 千円
--------	----------	----------	----------

池上分館の倉庫や大明西分館の床板修繕のほか、危険性・緊急性を踏まえ修繕に着手し、公民館施設の適正な維持管理と地域におけるコミュニティ活動が行いやすい環境づくりに努めました。

公民館活動推進事業

R2 決算額	581 千円	(前年度決算額)	1,465 千円
--------	--------	----------	----------

各地区の公民館活動の推進を図るため、各分館主事と連携して地域のニーズにあった活動に努めました。これまで、学ぶ喜びを知るきっかけづくりの場として、中央公民館を中心に生涯学習講座を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、運動や歌唱を伴う講座については中止となりました。

○開催した生涯学習講座

講座名	回数	延べ人数(人)
楽しい絵画教室	4	39
初めての篆刻	4	24
はじめてのペン習字	4	20
冬のガーデニング教室	1	5
合計(4講座)	13	88

○開催を中止した生涯学習講座

講座名	回数	応募数(人)
みんなで簡単な踊りをしましょう	4	3 2
バレトン&ストレッチ	4	1 7
長尾オルガンで歌いましょう	3	9
韓国語教室（入門）	1	-
鳥羽国際ホテルのシェフに学ぶフランス料理	1	1 0
焼き物を楽しむ	1	-
プリザーブドフラワーのある暮らし～リース～	1	-
夏休親子体験（キャンドルをつくろう）	1	-
夏休親子体験（ハーバリウム）	1	-
夏休親子体験（楽しく陶芸）	1	-
合計（10講座）	1 8	6 8

図書館運営事業

R2 決算額	36,475 千円	（前年度決算額）	39,240 千円
--------	-----------	----------	-----------

図書館では、定期休館日であった月曜を開館し、利用者サービスの向上を図りました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、書籍専用除菌装置とタブレット型検温器を設置しました。

また、第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画の計画期間が、令和2年度末で満了となることから、鳥羽市子ども読書活動推進計画策定委員会を開催し、第3次鳥羽市子ども読書活動推進計画を策定しました。

○図書館行事一覧表

行事名	開催月・回数	参加者数 (延人数)	行事名	開催月・回数	参加者数 (延人数)
絵本とかみしばいの会	毎月1回	4 5	世界 KAMISHIBAI の日	12 月(1 回)	5
赤ちゃん絵本の会	毎月第4金曜日	中止	冬休みおはなし会	12 月(1 回)	中止
おはなし会	毎月第1土曜日	1 7	工作&おりがみ教室	12 月(1 回)	中止
ブックトーク	毎月1回	中止	大人のためのおはなし会	2 月 (1 回)	中止
ストーリーテリング講習会	1～2 月(3 回)	6 7	ストーリーテリング勉強会	毎月第3火曜日	12(会員)
夏休みおはなし会	7 月 (1 回)	中止	読書会	毎月第2火曜日	11(会員)
おりがみ教室	7 月 (1 回)	中止	古文書講座	10～2 月(5 回)	中止

手作り絵本講習会	7.8月(2回)	中止	俳句講座(文化講座)	毎月第1木曜日	9(受講生)
工作教室	8月(1回)	中止	書道講座(文化講座)	毎月第3木曜日	18(受講生)
「絵本と子育て」講演会	10月(1回)	中止	短歌講座(文化講座)	毎月第3木曜日	8(受講生)
寝袋図書館	10月(1回)	5	絵画講座(文化講座)	毎月第4木曜日	6(受講生)
図書館カフェ	10月(1回)	22	本のリサイクルフェア	9～10月	中止

○展示会・作品展

展示名	期間	展示名	期間
写真家佐藤健寿写真展示	～4月10日	読書週間展示	10月17日～11月8日
こどもの読書週間を楽しもう!	5月7日～6月9日	絵画講座作品展	12月10日～24日
水軍の将、九鬼嘉隆が僧侶になる!?(書状展示)	6月11日～8月31日	市内小中学校書き初め作品展	1月22日～2月5日
教科書展示	6月12日～26日	鳥羽うみアートプロジェクト展示	2月6日～24日
原爆と人間展	7月23日～8月31日	令和2年度文化講座作品展覧会	2月26日～3月9日
夏休み!読書しよう!!	7月23日～8月31日	中部電力 電気ポスター作品展示	3月16日～3月30日

○図書館利用状況

年度	登録者数(人)	入館者数(人)	会議室 利用件数(回)	コピー サービス(枚)
令和元年度	12,083	75,704	208	5,128
令和2年度	12,224	63,438	166	2,845

○貸出状況

(単位:冊)

年度	一般書	児童書	郷土・ 雑誌	視聴覚他	計	内、団体 貸出冊数
令和元年度	54,059	37,284	6,260	1,248	98,851	11,216
令和2年度	51,168	32,764	4,653	751	89,336	9,467

○蔵書数

(単位：冊)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
192,602	194,163	196,752

○職業体験・社会見学受入状況

長岡中学校（職業体験）：2人

弘道小学校（社会見学）：19人

○市内小中学校へのブックトーク実施

小学校：5校・26回

中学校：2校・3回

子育て支援（ブックスタート）事業

R2 決算額	176 千円	（前年度決算額）	203 千円
--------	--------	----------	--------

健康福祉課が行う7か月児健康相談時に保健師と図書館司書が連携し、絵本を通して赤ちゃん和父母者の心がふれあう機会となるよう、ブックスタートパック（絵本2冊、赤ちゃんの絵本リスト、トートバッグ等）を手渡し、絵本の楽しさや魅力を伝えました。

コミュニティアリーナ維持管理事業

R2 決算額	2,792 千円	（前年度決算額）	3,566 千円
--------	----------	----------	----------

離島における地域や学校のスポーツ活動や生涯学習の活動拠点施設として幅広く利用されているため、安全で安心して利用できる維持管理に努めました。また、答志コミュニティアリーナの管理運営を指定管理者に委託し、施設の管理運営と利用者に対するサービス向上を図りました。

【成果指標と目標値】

(単位：人)

成果指標	平成26年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
生涯学習講座受講者 (延べ人数)	1,359	1,550	1,110	88	1,400
図書貸出冊数 (市立図書館)	104,972	96,574	98,851	89,336	110,000

【自己評価と今後の取組】

生涯学習講座については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大半の生涯学習講座の開講を断念したため、受講者数が減少しました。

今後は、生涯学習講座の開講の場として、鳥羽市民体育館が中心となることから、指定管理者とも連携・協力し、講座内容の充実に努め、学び喜びを知るきっかけづくりの場を提供していきます。

図書館では幅広い資料の収集や魅力的な図書の整備を行うとともに、小中学校への出張ブックトークを実施することにより、団体貸出冊数は増加傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなど、全体的な図書貸出冊数は減少傾向にあります。

令和2年度は、定期休館日であった月曜日を開館日に切り替えるなど、利用者サービスの向上に努め、令和3年度から施行する「第3次鳥羽市子ども読書活動推進計画」を策定しました。また、秋の読書週間期間中に「おためしカフェ」「寝袋図書館」を実施し、居心地のいい場所の提供と、本の魅力を知る機会を提供しました。

今後も、居住地や年代を問わず利用したくなる図書館サービスの提供や、第3次鳥羽市子ども読書活動推進計画に基づく、ブックスタート事業やブックトークなど、本に出会い、読書に親しむ環境の整備と、資料の充実に努めます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■新型コロナウイルス感染症が拡大する中、広く市民を対象とする講座等の実施が困難であったことはやむを得ないものと思われます。図書館における取り組みについても、実施または参加者数、図書貸出冊数などの成果には表れていないかもしれないが、同様の理由からやむを得ないものと思われます。引き続いての取り組みを通じて、今後の成果に期待したい。

＜委員 B＞

■新型コロナウイルス感染症の対策に制約があるものの、公民館での生涯学習講座、図書館でのブックトーク等、様々な事業は市民の交流を下支えしたり、健康維持、地域社会の活性化をしたりと役立っており、今後もこのような展開を続けてもらうことを期待します。

■魅力的な図書の整備といったハード面だけではなく、「おためしカフェ」「寝袋図書館」といったソフト面の企画は、意欲的であり、読書に親しむ環境のすそ野を広げる取組であると思います。

（２）歴史・文化遺産を生かした郷土学習の推進

- 文化財の調査・収集・保存
- 文化財の展示収蔵施設の整備
- 郷土学習の推進
- 無形文化や民俗文化の保存

【主な取組と成果】

歴史文化ガイドセンター事業	R2 決算額	2,934 千円	(前年度決算額)	3,100 千円
---------------	--------	----------	----------	----------

市街地の入口に立地する歴史文化ガイドセンターを賃借し、九鬼嘉隆展を常設するほか、鳥羽の歴史・文化を紹介しました。また、令和２年度は堺市博物館所蔵の史料の中に九鬼嘉隆親子が豊臣秀吉の死後、剃髪しようとしていたことを示す文書が発見されたことからガイドセンターでミニパネルを作成し、展示しました。（入館者１，０４４人）

文化財保存推進事業	R2 決算額	7,619 千円	(前年度決算額)	13,127 千円
-----------	--------	----------	----------	-----------

市内の指定及び登録文化財等の保全、活用を推進するため、必要な事業を実施しました。

旧鳥羽小学校については、外壁の改修工事を部分的に進めていますが、令和２年度は建物の西側側面の外壁・一部窓枠を改修しました。

また、旧鳥羽幼稚園石垣・旧鳥羽小周辺の除草作業等を行いました。

その他、指定文化財を中心とした鳥羽の歴史遺産を紹介する動画を作成し、PRを行いました。

文化財調査事業	R2 決算額	58 千円	(前年度決算額)	3,661 千円
---------	--------	-------	----------	----------

鳥羽市文化財調査委員会を開催したほか、県外に所在する鳥羽関係資料の調査を行いました。

文化財収蔵展示施設運営管理費

R2 決算額	2,799 千円	(前年度決算額)	2,071 千円
--------	----------	----------	----------

「鳥羽大庄屋かどや」について、かどや保存会への指定管理委託により、保守管理を行ないました。今年度も様々な展示と、イベント・教室等を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により４/11～５/31を休館したほか、催しの中止、県外入館者の制限等の影響もあり、入館者は３，９５６人で、前年度より１，８７９人減少しました。

博物館運営事業

R2 決算額	8,429 千円	(前年度決算額)	13,056 千円
--------	----------	----------	-----------

鳥羽市立海の博物館では、特別展・写真展等全7つの企画展のほか、海にまつわる体験学習等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、入館者数が減少したものの、修学旅行による学生の入館者数が大きく増加したため、海女文化等をはじめとする鳥羽の海洋文化を学生に学んでいただく好機となりました。

また、指定管理者の自主的な取組みとして、海の博物館で販売しているグッズをインターネットで購入することができるオンラインショップを開設したことで、新聞等で話題になるなど、コロナ禍における新しい事業展開を図りました。

○入館者数

(単位：人)

年度	入館者数	内修学旅行生	学校数
令和2年度	24,716	8,806	165
令和元年度	29,810	2,578	38
前年対比	△5,094	6,228	127

【成果指標と目標値】

成果指標	平成26年度	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
指定文化財の数	73件	73件	78件
郷土学習出前講座 実施の小学校数	2校	1校	7校
文化財展示施設の数	2施設	3施設	3施設

【自己評価と今後の取組】

調査事業としては、三田市における九鬼氏に関する史料調査を行ったほか、市内の歴史文化にかかる調査を実施しました。指定文化財数は目標値に達していませんが、指定にむけて調査をしていきます。

保存事業としては、旧鳥羽小学校校舎の外壁改修を行ったほか、周辺の環境整備事業を行いました。また、市内の主な指定文化財などの歴史遺産を紹介する動画を作成し、

市の YouTube チャンネルなどで公開し紹介を行いました。

郷土学習については、出前講座は1校に留まったものの、平成30年度から4年生「御木本幸吉」・5年生「海女」を対象とした「とばっこ検定」をスタートし、令和2年度には6年生「九鬼嘉隆」の検定を追加しました。

今後も検定の合格に向けた出前講座を推進していくことで人材の育成に努めていきます。

また、文化財展示施設数は平成29年度の海の博物館の市立化に伴い3施設となっています。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■文化行政については概ね着実な実施が実現しています。文化財関連については、中期的・長期的な視点から政策を立案し、実現に向けた取り組みが必要となるので、引き続き関係各所とも協調しながら、実施していただきたい。

＜委員 B＞

■海の博物館では、理由は新型コロナウイルス感染症の影響によるものであったとしても、せっかく大きく増加した修学旅行の学生入館者について、次年度以降も継続して来館してもらえよう、鳥羽市の魅力を発信できる企画を提案し、一過性に終わらせない活動を図ってもらいたい。

(3) 生涯スポーツを通じた活力ある生活の推進

- スポーツ推進事業の充実
- スポーツ団体との連携強化
- 中央公園運動施設の整備
- 学校体育施設の活用
- 国民体育大会「三重とこわか国体」への準備

【主な取組と成果】

保健体育総務業務

R2 決算額	28,539 千円	(前年度決算額)	22,412 千円
--------	-----------	----------	-----------

スポーツ推進委員協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会や研修会が中止となりました。

生涯スポーツ振興事業

R2 決算額	10,620 千円	(前年度決算額)	12,541 千円
--------	-----------	----------	-----------

新型コロナウイルス感染症の影響から、全国大会等の開催が少なく、令和元年度に比べ、激励金の支出が減少したが、各種団体において、感染症対策を実施しながら活動を行うなど、スポーツの推進を図りました。

また、答志小学校をモデル校としているコーディネーショントレーニングでは、オンライン形式での授業を行うなど、新たな方法での実施となりました。

項 目	回数 (回)	参加者延べ人数 (人)
鳥羽市小学校相撲大会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
障がい者スポーツ教室	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
コーディネーショントレーニング	10	233

学校体育施設開放事業

R2 決算額	1,332 千円	(前年度決算額)	1,332 千円
--------	----------	----------	----------

子どもや大人が気軽にスポーツを楽しむ場を提供するため、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し、スポーツが行える環境を整え、市民の健康増進や体力向上に努めました。

体育施設開放校数 (校)	利用者延べ人数 (人)
10	20,469

市民体育大会事業

R2 決算額	146 千円	(前年度決算額)	274 千円
--------	--------	----------	--------

新型コロナウイルス感染症の影響から、市民体育大会の開催が危ぶまれましたが、各競技団体が感染症対策を施し、開催することができました。令和元年度より競技数や参加者数は減少しましたが市内外問わず多くの方が参加していただきました。

また、例年、総合開会式で行う全国・東海大会等で優秀な成績を収めた選手への表彰を密な状況を作り出さないため、受賞者だけを集めての表彰式として開催しました。

市民体育大会		表 彰	
競技数	参加者数 (人)	選手 (人)	チーム
1 1	4 8 3	1 6	1

国民体育大会準備事業

R2 決算額	1, 695 千円	(前年度決算額)	4, 144 千円
--------	-----------	----------	-----------

令和3年度に開催される三重とこわか国体に向け、12月に国体のリハーサル大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響から大会が中止になりました。

また、フェンシング競技の普及啓発のため、鳥羽市民体育館サブアリーナの竣工式に合わせ、柔らかい剣を用いるスマートフェンシングを開催したほか、PR看板を設置するなど機運醸成を図りました。

○会議等の開催

名 称	開催回数	策定した各種計画等
宿泊衛生専門委員会	1 回	弁当調製施設業者の候補選定
常任委員会	1 回	専門委員会における調査審議事項
総会	1 回	事業報告、収支決算、事業計画、収支予算

○PR活動

名 称	実施場所
三重とこわか国体横断幕の設置	鳥羽市民体育館
事務所の窓をラッピング	鳥羽市教育委員会
炬火トーチの展示	鳥羽市民体育館
近鉄中之郷駅にPR看板を設置	近鉄中之郷駅

○広報紙

発行号	内 容
8 月 1 日号	三重とこわか国体の概要、ボランティアや弁当調製施設の募集
10 月 1 日号	フルーレの見どころと鳥羽市で活躍する選手の紹介など
12 月 1 日号	サーブルの見どころと鳥羽市にゆかりのある選手の紹介など
2 月 1 日号	エペの見どころと鳥羽市にゆかりのある選手の紹介
3 月 1 日号	伊勢志摩とこわか国体・大会事前体験レポート (8 市町合同企画)

○啓発イベントの開催

名 称	開催回数	実施場所
一緒に踊ろう♪とこわかダンス	3 回	安楽島保育所、あおぞら保育所、 答志小学校
フェンシング普及事業	1 回	加茂中学校
スマートフェンシングの実施	1 回	鳥羽市民体育館

学校体育振興事業

R2 決算額	817 千円	(前年度決算額)	2,915 千円
--------	--------	----------	----------

新型コロナウイルス感染症の影響から、小・中学校における部活動の大会が中止となり、昨年度に比べ減少となったほか、学校水泳が実施されなかったため、事業に対する補助金が皆減となりました。

東京 2020 オリパラ推進事業

R2 決算額	41 千円	(前年度決算額)	0 千円
--------	-------	----------	------

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの 1 年延期に伴い、オリンピック聖火リレー、オリンピック選手の応援・パラリンピック聖火フェスティバルも 1 年延期になりましたが、鳥羽市民体育館サブアリーナの竣工式に合わせ、オリンピック聖火の展示を行い、1,400 人もの方々に鳥羽市民体育館及び聖火を見ていただくことができました。

運動施設管理運営事業

R2 決算額	53,994 千円	(前年度決算額)	21,776 千円
--------	-----------	----------	-----------

新型コロナウイルス感染症の影響から、各種スポーツ団体の活動が減少したほか、相撲大会の中止、水泳プールの開設期間を短縮したことにより、利用者数が昨年度と比べ、大幅な減少となりました。

また、鳥羽市運動施設を（公財）鳥羽市武道振興会に管理を委託し、鳥羽市民体育館サブアリーナの工事完了に伴い、舞台幕や舞台用品等の備品購入を行いました。そのほ

か、利用者に安全安心に施設を利用していただくため、新型コロナウイルス感染症対策として消毒液やタブレット型の検温器等を購入し、設置しました。

○利用者数

施設名	利用者数（人）
体育館	4, 8 4 0
野球場	1, 9 4 3
庭球場	1, 8 8 8
多目的グラウンド	2, 4 5 5
相撲場	0
水泳プール	2, 0 2 5
合計	1 3, 1 5 1

○自主事業

自主事業開催数（回）	参加者延べ数（人）
1	5 4

【成果指標と目標値】

（単位：人）

成果指標	平成26年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度 (実績値)	令和2年度 (計画目標値)
学校体育施設利用者数	33, 239	24, 306	26, 166	20, 469	34, 000
鳥羽市中央公園運動施設利用者数	44, 910	32, 913	20, 840	19, 634	45, 000

【自己評価と今後の取組】

学校体育施設の開放については、学校教育に支障のない範囲で、子どもや大人が気軽にスポーツを楽しむ場を提供し、市民の健康増進や体力向上に努めました。

中央公園運動施設の利用については、鳥羽市民体育館サブアリーナで使用する舞台関係備品の購入など設備の充実を図り、内覧会や東京 2020 オリンピック聖火の巡回展示を開催することで、多くの市民の方に施設を見ていただくことができました。

これら施設の利用者数としては、新型コロナウイルス感染症の影響から、各種スポー

ツ団体の活動や等が減少したほか、相撲大会の中止や水泳プールの開設期間を短縮などで、減少しました。

今後も引き続き、指定管理者を公募し、施設利用の活性化と利用者の増加を目指します。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■スポーツ関連の成果指標について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるため、計画目標値に未達であることを否定的に評価することは慎重にならざるを得ない。むしろ、そのなかで市民体育大会を安全に実施することができたことは積極的に評価することができます。

その他の施策

就学援助事業

R2 決算額	11,893 千円	(前年度決算額)	13,738 千円
--------	-----------	----------	-----------

経済的理由により就学することに支障をきたしている児童・生徒の保護者からの申請に基づき、就学にかかる経済的援助を行いました。

また、地理的条件のため遠距離通学をしている児童・生徒の保護者に対し、通学費の補助を行い保護者の経済的負担の軽減を図りました。

○準要保護児童・生徒就学援助費扶助対象児童数：128人

遠距離通学費補助対象児童数：131人

○準要保護児童・生徒就学援助費扶助対象生徒数：84人

遠距離通学費補助対象生徒数：17人

高校生修学支援事業

R2 決算額	3,350 千円	(前年度決算額)	5,907 千円
--------	----------	----------	----------

教育における経済的負担の軽減を図るとともに、子育て支援及び定住促進に資するため、本市に在住している高校生の通学費の一部や、通学が困難で下宿をしている高校生の下宿費の一部を補助しました。また、募集時には近隣高校の該当生徒へ募集案内の配布などを行い、申請件数の拡大に取り組みました。

○補助件数

・通学費：50件（本土5件、離島45件）・下宿費：14件

【自己評価と今後の取組】

就学援助事業については、学校教育法に基づき経済的支援を行っているもので、今後も継続した支援を実施していきます。また、高校生修学支援事業についても、特に離島地域からの高校通学にかかる家庭の経済的負担が大きいことから、継続して補助を行っていきます。

【委員からの意見等】

＜委員 A＞

■就学支援事業、高校生就学支援事業ともに教育の機会均等の理念を具現化するための制度であるため、引き続きの実施を望みます。財政状況に鑑みて可能であるようであれば、一層の充実を求めたいと考えます。

【報告書全体を通しての意見】

＜委員 A＞

■令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に関連して、学校教育・生涯学習のそれぞれにおいて、多くの困難があったことが推察されます。今後、一定の落ち着きがみられるようになった際には、この間の振り返り・検証を行っていただくことを望みます。

＜委員 B＞

■点検・評価を担当することで、教育委員会の多面的にわたる事業の取り組みを再認識するとともに、柔軟な新型コロナウイルス感染症への対応力を感じました。また「鳥羽市教育振興基本計画」を改訂し、来年度からスタートする「第2次鳥羽市教育ビジョン」への期待が高まるとともに、サブタイトル「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」の具現化に向けて、主体者である子どもたちを中心に据えて、各関係機関等がより深く連携する必要性があると認識しています。

■今回、報告書に決算額等の資料を掲載してもらったことで、具体的な事業規模や事業の重点化の状況を評価者が把握しやすく、点検・評価に反映できたことはありがたいものでありました。